

木下 正議員

### コロナ禍における 市内公園の活用

**問** 公園をまちづくりの拠点にするため、公園に関わるさまざまな人たちによる公園ミーティングを提案するがどうか。

**答** 身近な公園の活用について、子育て世代やシニア世代、愛護団体やスポーツ団体など、いろいろな立場の人たちで、話し合うことは有意義である。地域の特性を踏まえた公園の利活用を図るように取り組んでいく。

**問** 利用率の向上や災害時の活用のため、公園面積や照明、トイレ、防災倉庫の有無などを記載した公園マップを、ホームページに掲載してはどうか。

**答** 身近な公園への期待や需要が高まっている。今後は市が管理する85カ所すべての都市公園を、ホームページに掲載するのに対していく。



南町北公園

### コロナ禍における 公共交通

**問** 事業者への支援は。

**答** 民間路線バスは、利用者数減少により欠損額が増大しており、補助金を増額し路線の維持に努めている。また、地域が主体で、交通事業者や行政と連携した(仮称)地域タクシートの運行を考えており、新規事業への参画で稼働率の向上を図り、事業の維持につなげていく。



ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。QRコードを読み取ってご覧ください。※パケット通信料がかかります。

竹野の 昇議員

### 紙の全量リサイクル

**問** ごみ減量、中遠クリーンセンターの焼却炉延命が市の大きな課題となつている。家庭や事業所、学校などの協力で、封筒、包装紙、メモちらし類、シュレッダーにかけられた紙など全ての紙類を、ごみでなく大切な資源としてリサイクルすれば、ごみ減量化、循環型社会、環境に優しいまちとなる。全ての紙類回収の具体的方法を検討しているか。

**答** 今後、幼稚園、小中学校や市の外郭施設などに、シュレッダーにかけられた紙でもリサイクルできることを周知するとともに、令和3年度から実施する事業系ごみ削減のため事業所訪問の際、大手リサイクル業者への古紙の排出を提案するなど、官民一体となって、リサイクルできる体制を整えていきたい。



封筒、ちらし、メモ用紙、包装紙、コピー紙などの雑紙類

### 地域に密着した 人事の在り方

**問** コミュニティセンターなど地域に密着した施設の長は、その地域にふさわしい人選が望まれるが。

**答** コミュニティセンターの職員採用は、令和2年度から導入された会計年度任用職員の任用手続きにより公募を行い、必要に応じ班内回覧などで募集を行うなど、広く人材を求め人選を行っている。

近藤 正美議員

### ラグビーW杯2019のレガシーは

**問** この大会が産業界のきっかけとなっているか。

**答** 60店舗でキャッシュレス決済の基盤整備が進み、商業振興に寄与した。コロナ終息後はSNSの活用などで情報発信し、インバウンド観光を推進する。またエコパワースムッシュを遠州三山、宿泊施設などと連携し誘客にも取り組む。



「食」でつながる高齢者支援

### インフルエンザ予防 効果で茶業振興を

**問** 緑茶の常飲推奨が生産量、消費量の増加や健康増進に貢献すると期待されるが認識はどうか。

**答** 緑茶の常飲が定着すれば、茶の生産量と消費量が増大し、健康増進に有効であると認識している。関係団体と連携し、茶の寄贈、試供品配布などで緑茶常飲を啓発していきたい。

### 民間の介護予防・高齢者支援の活動は

**問** 住民と生産者と直売所をつなぐ取り組みの相乗効果は。

**答** 住民は新鮮な農産物を安価で購入でき、人との交流やでん伝体操で介護予防が期待できる。生産者は市場出荷などに比べて利益率が高く、直売業者は売り上げや認知度の向上、社会貢献の実現につながる。